



来待小だより

12月号

令和7年12月22日(月)

松江市立来待小学校

校長 村上 幸人



来待小ホームページ



修学旅行に行ってきました（6年生）



小学生にとって一大イベントである6年生の修学旅行、今年度は11月27日(木)、28日(金)に広島方面へ行きました。

天候に恵まれ、安芸の宮島での観光では、シンボルの朱色の大鳥居の前で記念撮影後、買い物や食事(お好み焼き)を楽しみました。その後、平和記念公園に到着し、平和学習を行いました。「原爆の子の像」では、6年生による平和セレモニーを行い、千羽鶴を献納しました。その後、ピースガイドさんのお話を聞きながら公園内を散策し、資料館では、当時の広島に起こったことを学習しました。また、被爆体験伝承者の講話を聞く機会もあり、当時の惨状の様子やその後の被爆者の苦しみ、思いを直接受け止めることができる貴重な時間になりました。

2日目は製鉄工場に見学に行き、大きな鉄板が、それこそ巨大な機械の遠隔操作によって次々に作り出されるのを目の当たりにしました。身の回りにある鉄製品がきれいにできている日本の製鉄技術の高さを驚きとともに感じました。最後の訪問地である「みろくの里」(遊園地)では、普段は乗れないジェットコースターや観覧車などで思う存分に楽しみました。ルールやマナーを守り、きびきびとした行動で、だれもが気持ちよく過ごすことができ、一生の思い出になりました。



厳島神社の大鳥居の前で記念撮影



「原爆の子の像」の前での平和セレモニー

「平和公園にて」6年生の感想（要約しています）

- 平和公園の碑めぐりでは、ネットでは分からないお話を聞いて良かったです。本物を見ることで、写真とは違う体験がきました。被爆した人の洋服は戦争の怖さを物語っているようでした。
- 原爆ドームを見て、どんな建物でもあんな風に、もしかしたら跡形もなくなってしまうのかと怖かったです。
- 資料館の見学では、怖い絵、写真、物があって少し不気味でした。人が死んでしまった絵などを思い出したら悪いことしか想像できなくなって夜が少し怖かったです。
- セレモニーでは、しっかりとした鐘の音が響いていました。何となく平和だなあと思いました。
- 戦争で病気を患ってしまった さだこさんは、鶴を千羽折ると願いがかなうこと信じて折り続け、そして亡くなりました。それをぼくたちが受け継いで千羽鶴を折って、ささげられてよかったです。
- 原爆被爆者の方の思いを熱心に伝えてもらいました。その話しこから少し悲しい気持ちになりました。年も取られているのに、こんなにがんばっていて、すごいなと思いました。
- 講話では恐ろしいお話をましたが、その人はそれ以上に恐ろしい所を見たんだと思いました。自分の家族がこうなったらと思うと涙が出そうでした。
- ここでたくさんのこと学びました。平和が大切ということ、戦争を二度と起こしたくないという願いが込められていることが分かりました。

来待のスーパースターを学びました（4年生）

4年生はふるさと学習の一環で、来待石について学習を続けています。12月3日（水）に、歴史案内人や著作活動で活躍されている五百川秀男さんに来ていただき、来待石の名工でその加工技術の普及に努めた新出九一郎さんについて、教えていただきました。

来待石のでき方や特性、松江藩における製品の販売の仕方や現在の商品などについて、写真を示しながら分かりやすく伝えていただきました。高い技術を持つ伝統工芸士の新出九一郎さんの生い立ちや業績、作品も紹介していただきました。昔の話と思いがちですが、今も身近な場所に残されている作品を紹介され、未だ九一郎さんが息づいている感じを受けました。

石彫や来待ストーン見学も含めて学習内容を新聞にまとめます。作品が楽しみです。



来待石の歴史についてのお話

「あきのたのしいわくわくランド」へようこそ！（1年生・幼保園児）

こどもたちの幼稚園や保育所から小学校への円滑な接続を図り、小学校でのよりよい活躍を図っていくことが求められています。そこで、しんじ幼保園年長児のこどもたちと小学校をつなぐため、交流活動に力を入れています。

今年度は来待小学校に来てもらい、学習発表会前に小学生の発表を鑑賞してもらいました。また、進学予定の園児と1年生が一緒に活動する「なかよし会」（11月20日）、「あきのたのしいわくわくランド」（12月4日）を行いました。小学校での生活や勉強を教えたり、一緒に遊んだりすることで、園児の進学への不安を解消するよう、本校のやさしい1年生が力を発揮していました。



学校を案内する1年生

1年生の作文（原文）

わたしは、なかよしあいをしました。はじめに、かおをあわせてなかよくなりました。つぎにあさのかいをしました。それから、しりとりをしました。それから、ぎょうかんでようちえんさんとぶらんこをしました。それから、さんすうとたいいくでだんすをしました。さいごに、おみおくりをしたらてをふってくれてうれしかったです。もう一かいあいたいな。



わくわくらんどの様子（児童絵）

松江市学力調査（5・6年生）

松江市では今年度より独自の学力調査を実施し、児童の学習状況を客観的に把握し、結果に基づいたより適切な学習指導・支援により学力の向上を図ります。5・6年生を対象に国語と算数の調査を12月4日に実施しました。紙や鉛筆ではなくコンピュータを使った試験方式です。デジタルによる採点や分析、経年比較ができます。有効に活用していきます。

本年も保護者・地域の皆様には、学校教育への温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。また、保護者の皆様には12月中の急なお弁当のご準備にご協力いただき、ありがとうございました。

来年も引き続き、共に力を合わせてよりよい学校づくりに努めます。よいお年をお迎えください。